

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名		担当教員名	曜日	時限	授業時間割	定員
1	美術	金原 由紀子	月	4	1 時限 09:00～10:30 2 時限 10:40～12:10 3 時限 13:00～14:30 4 時限 14:40～16:10 5 時限 16:20～17:50	若干名
2	メディア論	村木 益実	火	2		
3	社会思想 I	木村 光太郎	水	3		
4	芸術概論	伊藤 紫織	木	2		
5	日本史特論 I	加藤 順一	木	2		
6	国際政治史	小林 正英	木	3		
7	人間と色彩	檜村 雅章	金	3		

- ※ 授業科目・曜日・時限等は変更になる場合もあります。ご了承ください。
- ※ 授業は4月6日（月）から開始し、全15回の実施を予定しております。なお祝日に授業を行う日もあります。
- ※ 成績評価はいたしません。また、学期末試験を受験する必要はありません。ただし、小テストが実施される科目の場合は、成績評価に関わらず受験していただきます。
- ※ 本講座はパソコンやタブレット端末など、電子機器の基本的な操作ができる方を対象としています。
- ※ 社会情勢や授業担当教員の都合により、授業はオンライン（オンデマンド）で実施される場合があります。オンライン受講時は自宅等での受講となり、インターネット通信環境および接続可能な端末が必要です。
また、授業に関する連絡は本学ポータルシステムを通じて行い、授業によっては受講時に各自の端末を持参していただく場合があります。
- ※ 大学からパソコンやタブレットの貸し出しは行っておりませんので、予めご了承ください。

＜オリエンテーションについて＞

受講開始に先立ち、システムの操作方法について説明するオリエンテーションを3月30日（月）に開催します。
オリエンテーションにはパソコンやタブレットなどの端末をご持参ください。円滑な受講のためにも必ずご参加ください。

(2) 場所

尚美学園大学 埼玉県川越市豊田町 1 - 1 - 1

JR 埼京線・川越線／東武東上線 「川越駅」西口から無料スクールバス 10 分

西武新宿線 「本川越駅」から無料スクールバス 15 分 (下図参照)

※ 受講の際は公共交通機関(電車、スクールバス等)をご利用ください。

なお、自動車での通学は認められておりません。

【川越駅西口 スクールバス乗り場】



【本川越駅 スクールバス乗り場】



2 受講料等

(1) 受講料 1 科目(半期)につき 10,000 円

※ 銀行振込によるお支払いとなります。

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和 8 年 3 月 5 日(木) (16:30 まで)

(2) 申込先 尚美学園大学 教務課
E-mail kyomu@s.shobi-u.ac.jp

(3) 申込方法
以下の事項をもれなく記入の上、E-mail にてお申し込みください。

件名：大学の開放授業講座受講申込

本文：① 住所

ふりがな

② 氏名

③ 年齢(令和 8 年 4 月 1 日現在)

④ 性別

⑤ 電話番号(携帯)

⑥ E-mail アドレス

- ⑦ 受講希望科目（2科目まで）
- ⑧ 身分証用写真データ

写真データ提出に関する注意事項：

- ※ 最近3ヶ月以内に撮影されたもの
- ※ 上半身、正面、脱帽、背景が無地のもの
- ※ 正装(スーツやジャケット着用など)を推奨
- ※ 個人が特定しづらい画像の使用は不可
- ※ 画像形式はJPGおよびPNGのみとし、容量10MBまで
- ※ 縦4:横3で切り取り可能な画像

(4) 選抜方法

受講の可否は、3月19日（木）までに申込者全員にE-mailにて通知いたします。

- ※ 多数の申し込みがあった場合は、抽選により受講者を決定いたします。

(5) その他

- ※ 申し込み後、都合により受講できなくなった場合は、4月2日（木）までにご連絡ください。受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料につきましては返金できませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ **本講座はパソコンやタブレット端末など、電子機器の基本的な操作ができる方を対象としています。**
- ※ **オリエンテーションを3月30日（月）に開催します。オリエンテーションでは、講座で使用するシステムの操作方法について説明します。端末をご持参のうえ、円滑な受講のために必ずご参加ください。**

4 各授業科目の概要および担当教員

美術 (金原 由紀子)	西洋と日本の近代美術の鑑賞の方法を実践的に学び、それぞれがどのように関わり合いながら展開したのかを概観していく。美術の様式の変遷を単にたどっていくのではなく、各時代の政治・社会的背景の中での美術作品の意味について考えていく。また、西洋の美術と日本美術の特質についても解説する。
メディア論 (村木 益実)	メディアは20世紀以降の大衆文化や技術社会と強く連動しながら発展してきた。21世紀に入り、インターネットやスマートフォンの登場により、メディアが織りなす風景は一変した。メディアの果たすべき使命と役割、その本質と課題、責任。理論と歴史から「今」を学び、未来を考える授業を目指す。

社会思想Ⅰ (木村 光太郎)	社会に関する思想や哲学を学ぶことを目的とする。この講義では、哲学と社会科学の中間的なアプローチを採用し、「権力と権威」「所有と自由」「国家と社会」「民主主義」というテーマを設定する。西洋の著名な思想家の理論を手がかりに、法思想、政治思想、経済思想などさまざまな視点から社会を考察する。現代社会の根底にある思想的背景を批判的に理解する能力を養う。
芸術概論 (伊藤 紫織)	芸術について作品と作者、古典と現代、模倣と創造等といったテーマに沿って考察する。
日本史特論Ⅰ (加藤 順一)	本科目では、日本の支配階層である天皇・皇室および貴族・武士に関する諸制度を例年講義してきた。今年度は、前半では古代から続く伝統と時代とともに変化した過程を講義し、後半では中世・近世において確立した武士による政権の構造と社会的機能を講義する。天皇と武士(幕府)相互の関係性や、近代における天皇と旧公家(貴族)・大名との関係および天皇の軍事的役割についても講義する。
国際政治史 (小林 正英)	現在の国際関係は、大きな揺らぎの中にあります。従来の主権国家システムを越えた、新たなシステムが出現しつつある可能性が指摘されています。学生の皆さんが体系的に国際政治について学ぶ人生最後の機会であるかもしれないことを踏まえ、主権国家システムという近現代の国際社会の基本について学修するとともに、関係の基本的概念についておさえます。さらに、今後の人生の中で国際社会について考える基本的な思考の枠組みのヒントを提供します。
人間と色彩 (檜村 雅章)	人間は多くの情報を視覚によって取り込んでいる。中でも色彩は人間の関わるあらゆる分野で広く利用されており、色のない生活は想像できない。本科目では、まず視覚系の構成や色知覚に関する基礎的特性を解説し、色を感じる仕組みがどのように解明されてきたのかを概説する。続いて、色を表すために工夫されたさまざまな表色系について解説する。さらに、主観的な色の見え方や心理効果など、感性情報としての色彩のはたらきとその応用について説明し、色に関する幅広い基礎的知識の習得をめざす。

※ 講義内容は変更になる場合もあります。ご了承ください。